

平成 27 年度串間市立本城中学校 学校関係者評価書

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	総合評価	学校関係者コメント	学校関係者評価
1 学力向上	①学力向上を意識した一貫教育の推進	○ 1 月に実施したアンケート調査では、「自分の思いや考えを分かりやすく話すことができますか」の問いに対して、肯定的な回答は 45%であったが、1 回目の調査よりも 10%上がった。毎日の 1 分間スピーチを計画的・意図的に取り組んだ結果ではないかと考えられる。 ○ 本年度は、普段の授業積極的に言語活動を取り入れた授業を展開することができた。その結果、授業だけでなく、委員会での話し合い活動や、集会等の発表などが上手にできるようになってきたと感じている。 ○ 「話型表」についても授業中に全職員で意識して取り組み、定着しつつある。 ○ 言語活動をいろいろな場面で取り入れたことで、しっかりした言葉ではっきりと話ができるようになったと思われる。	3	3	・自分の思いを相手に正しく伝えることが出来るよう、しっかりと取り組んで欲しい。 ・自分の思いや考えをわかりやすく話すことは、成長して社会に出るには大変重要なことだと思う。毎日の 1 分間スピーチによる反復により、自信と表現力を磨く取り組みは大いに評価できる。また、話型表を使って正しい会話や表現ができるように、今後も努力継続して欲しい。 ・1 分間スピーチは、決められた時間内に自分の意見や思いを伝える事は大人でも難しい。今後、大いに役立つと思われるとてもよい取り組み。 ・29 年度は統合されます。多人数の前で大きな声でスピーチが出来るように 1 分間スピーチの継続をお願いしたい。 ・かなり突っ込んだ議論がなされた項目と思う。目標、方策共に工夫が見られる。「話型表」は、その成果につながっていると思われる。	3
	②基礎的基本的内容の確実な定着	○ 「授業がわかる」「授業が楽しい」と答える生徒が本年度も 86%と高い数値を示した。「わかる授業」の構築に全職員で努めた結果であると考え。 ○ ひがタイムについては、本年度から数学と英語を隔週で 1 年生と 2・3 年生で実施した。2 年生については、みやざき学力調査で数学・英語共に県の平均を上回った。3 年生の実力テストでは、地区の平均を上回ることはできなかったが、以前に比べ、平均に近づく結果が出ており、効果が現れているのではないかと考える。 ○ 1 月に実施したアンケート調査では、「分からないところがあった時に先生や友だちに質問しますか」という問いに対して 82%の生徒が肯定的な回答をした。事後指導の徹底や、個別学習の時間を確保したことにより、生徒の意識も高くなってきた。	4		・基礎的学力の充実に取り組んで欲しい。 ・「授業が分かる・楽しい」と答える生徒 86%の取り組み、結果は素晴らしい。「ひがタイム」への取り組みも学力の定着・向上に繋がっている。また、分からないところを先生や友人に質問できる生徒が多くなったのも指導の結果であると思う。 ・「授業が分かる楽しい」という生徒が多く、先生方の色々な取組の結果と思う。今後もお願いしたい。 ・「授業が楽しい」は、「勉強が好き」につながると思う。先生方の努力が見える。 ・具体的目標の「アンケート授業がわかり、楽しい」が 86%以上は目標を上回ることも、かなりの高数値であり、「分からないところがあった時、質問するか」も 82%と高く、意識も向上しているのが見てとれる。	4

	③家庭を巻き込んだ家庭学習の確立(宅習、読書、わが家の目標)	○ 本年度の後半になるにつれ、宿題や宅習忘れなどが極端に減少した。やらなければならないこと等について習慣化してきたと感じる。しかし、課題としていた「テスト前の2時間以上の家庭学習」をする生徒は59%、「昨年より家庭学習に取り組むようになった」と回答する保護者は76%であった。学校では個別の学習や宿題の量など協議して手立てを講じているが、「家庭を巻き込む」段階までなかなか至っていない。子どもの生活習慣づくりに対して保護者と一体となってこの問題に取り組んでいかなければならない。 ○ 家読推進のため、校内読書週間に合わせて「家読リレー」を行い、保護者も共に本を読んでもらった。その際に、本の感想も書いていただき、家で読書や家族だんらんの会話のきっかけにはなった。さらに家読への啓発を図っていきたい。 ○ 学習環境の整備については、生徒指導部と連携し、「携帯・スマホの使用時間は1時間」としその徹底に努めた。また、携帯・スマホ教室や通信、参観日等、機会あるごとに使い方の指導の徹底を図ってきた。	2	・家庭学習の取組に保護者との一層の連携を図って欲しい。 ・宿題や宅習忘れが減少し、家庭学習の習慣化ができた割には、テスト前の2時間以上の取り組みが59%と低いのは残念である。保護者の評価は上がっているが、生徒は机上でどのような学習をしているのか、把握されているのかも知りたい。 家庭を巻き込む学習にも保護者の参加にさらに協力を求めたい。また、携帯・スマホ使用時間1時間指導も、保護者と一体となり、今一歩踏み込んだ指導が必要であると思う。 ・携帯については、なかなか難しい問題である。いじめや事件にも巻き込まれる危険性もあるので、保護者とのさらなる連携が必要である。 ・家庭学習の時間がまだまだ少ないように感じる。保護者の協力不可欠である。 ・手強い項目だと思う。数値結果は低いものの、これからの問題意識の継続と改善に期待している。	3
2 豊かな 人間性	①体験学習を通した必要な資質の向上	○ 「感話の時間」を年間通して実施した。教職員の今まで経験してきたことを、全校生徒が黙想をして、集中して聴くことができた。生徒指導通信でも、紹介することができた。感動する話は生徒の心に良い影響を与えらると思う。 ○ 宮崎市での2泊3日の1年生の職場訪問や2年生の職場体験学習は、充実した活動となった。修学旅行前の集団生活としての意義も深かった。 ○ 立志式には、事前学習にも計画的に取り組み、生徒一人一人の14歳としての自覚と将来に向けて考える機会となり、その目的を十分に果たした。 ○ 3年生は、自己の進路決定に向けて計画的に進路指導を行った。1月には、生徒1人に対し5人の職員で面接の練習を行い、生徒の自信に繋がった。	4	・将来に向かって、自分の夢や希望をもって努力することの大切さを伝えて欲しい。 ・「感話の時間」にて教職員の経験談は、先生方の人生体験が分かり、生徒の心の指針となる。できれば、評価委員にも生徒指導便りが欲しい。宮崎市での宿泊を伴った職場体験学習や職場訪問は、貴重な体験となったと思う。立志式は少し大人になった生徒の顔や立志の誓いが素晴らしかった。 ・体験学習は、社会と人との関りを知る上で大切な事である。これからも継続して欲しい。 ・1年生の宮崎市での2泊3日の職場訪問や2年生の職場体験学習など、わくわくするものばかりである。生徒にとって素晴らしい中学校での経験が、どれほど心に残るものであるか。	4

	②望ましい人間関係の醸成に努め、思いやりのある言動の促進	○ 居心地のよいクラスにするためのアンケートを1学期（7月）、2学期（11月）、3学期（2月）に実施。3学期のアンケート結果は「このクラスは楽しい」が平均 3.5、「いじめのないクラスだ」が平均 3.2、「このクラスには私の居場所がある」が平均 3.4 だった。 ①のアンケート「クラスは楽しい」については、目標を達成することができた。しかし、「いじめのないクラスだ」、「このクラスには私の居場所がある」については、目標を達成することはできなかった。ただ、学校行事等をクラスで取り組むことにより、どのクラスも年度初めよりも雰囲気良くなり、学校全体も落ち着いている。このアンケート結果に安心せず、継続して見守り、指導を行っていききたい。 ○毎週水曜日の共通理解、いじめアンケート・教育相談の実施を計画的に実施した。 ○一人一人をしっかり観察できる事が落ち着いた学校に繋がっている。	3	・相手の痛み、迷惑をかけない思いやりのある行動ができるよう指導して欲しい。 ・学校の雰囲気も良く学校全体が落ち着いていることで安心する。いじめは社会的な大きな問題である。いじめも多種多様で、ネット等の活用もあるため生徒との対話や観察を密にして欲しい。 ・「このクラスには楽しい」を見て安心した。いじめについては、今後も注意深く見守って頂きたい。 ・生徒と先生の関係がとても良いと思う。授業中の雰囲気も良かった。 ・定期的なアンケートで実態把握に努めることでかなりの効果があると思う。生徒一人一人をしあつかり観察することで、緊張感をもって取り組んだ結果、落ち着いた学校に仕上がっている。	3
	③小・中一貫による共通課題「表現力の向上」への取組	○ 2学期の学校評価の反省を受けて、行事や集会等で改善点を話し、粘り強く指導を行った。また、生徒指導通信でも、あいさつの大切さを掲載し、保護者への啓発も行った。 ○ 3学年は、高校受験に向けての面接指導を実施し、「声の出し方」「礼の仕方」など、指導を行っていく中で良くなってきた。 ○ 生徒会執行部が3学期初めに、朝、橘ホンダ前であいさつ運動を実施。小学生や地域の方に対してもあいさつを行った。 ○ 様々な指導や活動を年間通して行っていく中で、少しずつ生徒たちが「あいさつ」について意識するようになり、声の大きさや礼の仕方など良くなってきた。ただ、校内や部活動ではできるようになったが、体験学習や修学旅行等、校外に出ると消極的である。今後は、校外に出て、どのように実践していくかが課題である。 ○ 地域の方々から、生徒のあいさつが良いという言葉を受けた。我々教員が見えないところでも、日頃の指導が生かされていて安心した。 ○ 自分の考えを発表できる場については、教師側が意識して設定し、授業のみならず、集会や行事等で、すべての生徒が人前での発表を体験している。原稿なしでも発表できるようになってきており今後も数多くその場を意図的に設定していきたい。	4	・ありとあらゆる場所で、挨拶・発表が出来る。良く指導されていると思う。 ・あいさつについて粘り強く指導を行われた結果、地域からも良い結果を得ていることを高く評価したい。校外に出ると消極的になる傾向があるようなので、発表やスピーチ活動を通して恥ずかしがらずできるよう継続して欲しい。 ・中学生になると照れる年代だと思うが、大きな声で挨拶してくれることが嬉しい。 ・気持ちの良い挨拶は、本城っ子の1番の宝だ。統合された後も自然に挨拶ができる本城っ子であって欲しい。 ・細かな指導で目標に近い結果が出ていると思う。今後とも引き続き、取り組みをお願いしたい。	4

3 健康・体力・食育	①「むし歯0」の推進【フッ化物洗口の実施とむし歯治療勧告の徹底】	○ むし歯治療については、冬休み前にも受診勧告を行ったが、前回から歯科受診者は増えていない。受診しなければいけない事はわかっているようだが、先延ばしになっているようだ。また、保護者の家庭での歯磨きへ声かけは 67%で決して高いとは言えない。「むし歯0」に向けて、さらなる家庭との連携が今後も必要である。 ○ 歯みがき習慣については、習慣化できていない生徒に複数の職員で何度も指導を行ってきた。生活チェック週間の全校の結果を見ると実施率が5月 80%、9月 88%、1月 93%と徐々に増えてきている。「むし歯予防」の意識が出てきたように思う。今後も継続して指導し、歯みがき実施率 100%を目指したい。 ○ フッ化物洗口は、毎週金曜日の朝、計画的に実施できた。	3	・ 今後、継続的に一層の指導をお願いしたい。 ・ むし歯0については、今後も家庭と連携して、歯磨きの習慣化や治療勧告を継続して啓発して欲しい。フッ化物洗口は、計画的にできており良い。 ・ 本城には、歯科医院がないため、治療には時間的、人的（親に送ってもらう）負担が大きい。その事をしっかり生徒に理解してもらい、むし歯予防に努めてもらいたい。 ・ 先生方と保護者の努力が伺える。 ・ 早急には改善は難しいだろうが、引き続き取り組みを行って欲しい。	3
	②体力の向上【清掃時間を活用した体力づくり】	○ 校舎内と外清掃の曜日を分け、計画的に取り組むことができた。また、3 学期は清掃集会を実施し、担当の職員と清掃についての手順等の確認を行った。そのため、清掃場所が変わってもスムーズに取り組むことができた。また、時間いっぱいに取り組む生徒が増えた。ただ、「体力づくり」という点では、肯定的な回答をする生徒が32%と低かった。これについては、具体的な取組例を示し、個人で設定した目標を日々意識させていく必要がある。	2	3 ・ 清掃を通しての体力の向上は、とても素晴らしい。 ・ 清掃時間を利用した体力づくりは奇抜な発想で面白い。創意工夫が凝らされており、少人数でも清掃が進むのではないかなと思う。少しのウエイト（おもり・ダンベル）や小走り（ダッシュ）などを活用してはどうか。 ・ 清掃＝体力づくりの考え方は大変良い。清掃も一生懸命やれば、汗もかくし、窓拭きなど筋肉も鍛えられるだろう。 ・ いつ行っても校内がきれいにしてあるのは、日頃の先生と生徒の取り組みに対する努力があるからだと思う。 ・ 清掃と体力の向上リンクは良い。これからも工夫で楽しく体力向上とモラル向上につなげてほしい。	3
	③部活動の活性化【部活動参加への推進】	○ 部活動については、野球部・卓球部共に練習の参加状況が良好である。練習計画や目標設定等も随時行っており、前向きに取り組んでいる。他校との練習や試合などの交流も深めることができ、今後の成長が楽しみである。 ○ 統廃合を見据えた取り組みについては、次年度の4月以降、不透明な点もあるため整理していく必要がある。 ○ 今年度の野球部の活躍は素晴らしかった。限られた人数で限られた能力の中での地区優勝、県大会出場は部活動の活性化に大きく繋がった。ただ、部活動に所属していない生徒や女子の部活動の活性化を今後考える必要がある。	4	・ 部活動への取り組みは、とても素晴らしい。 ・ 部活動については、限られた人数で工夫されながら頑張っている。他校との交流も良好で、野球部の県大会出場など、大変素晴らしかった。 ・ 少人数での部活動は大変だと思うが、県大会に出場出来て生徒達の「やればできる」に繋がったと思う。 ・ 少ない部員で野球部、地区優勝おめでとう。運動・知力は両輪である。	4

	④食生活の見直し。自分で作る弁当の日実施【弁当の日前日の課題及び部活動の緩和】	○ 夏休みの「チャレンジクッキング」では、全員がおかず1品以上つくることに取り組むことができ、チャレンジシートにまとめ提出した。チャレンジシートは文化祭で掲示した。 ○ 2学期の「自分でつくる弁当の日」では、2人の生徒が自分で作るができなかったが、他の生徒は、自分にあったコースで作ることができた。また、実施できなかった生徒も含め、全員が感想や今後の抱負、弁当の写真などをチャレンジシートにまとめ提出できた。 ○ 栄養教諭による弁当づくりの指導や、T Tの授業は計画通り実施した。また、保護者の協力をもらい、「本城小中学校おすすめお弁当のおかずレシピ集」をつくり、全家庭に配付した。 ○ これらの成果で、自分でつくる弁当への取組が昨年度の60%から77%へと上がったと思われる。次年度も100%を目指していきたい。	3	・食の大切さを良く理解され実践されていると思う。 ・自分で作って食べることは、食への楽しみや興味、栄養や作る楽しみ、また、いつも作ってくれる親への感謝が分かるのでこれからも継続して欲しい。また、食育として3食食べられる有難さ、命を頂いているという気持ちが芽生えてくれるような授業をお願いしたい。 ・2名の生徒が出来なかった理由が分からないが、レシピ集等を参考にして全員でおいしくいただく姿を期待している。 ・おすすめのレシピ集は、弁当をつくる子供たちにとって、とても良いアイデアだと思う。食の大切さを知る取り組みである。これからも継続して欲しい。 ・具体的目標達成への意欲が見える。食の視点から、健康についての指導がなされている。おかずが作れる生徒100%が若干未達成であったのが残念である。	3
--	---	---	---	---	---

【 総 評 】

【本年度について】

- ・全てにおいて、一生懸命努力され行動されていると思う。生徒が落ち着いた状況にある。
- ・立志式の生徒と保護者を見ていると毎年、感動する。赤ちゃん、保育園時代の写真もよいと思う。
- ・先生と生徒の信頼関係がうまくいっているなど感じる。
- ・平成9年度に始まった外部評価委員会に提出された学校経営計画は、小中学校共通の学校評価内容で、評価項目も授業改善、小中連携などシンプルなものだった。その達成取組手段や目標も中学校では、「教材研究をきちんと行い、教師間で積極的に授業を公開する」など、平成27年度の評価内容と比較すると隔世の感がある。校長先生をはじめ、教職員の皆さんの真摯な評価制度に対する取り組みを拝見すると、更に深化した、よりよい評価制度になるものと確信している。今後とも素晴らしい評価制度による、素晴らしい中学校になるよう、わたくしども評価委員もその一助となりますよう努力したい。校長先生をはじめ、教職員の皆さん方の努力に感謝申し上げたい。先生方の努力の足跡は、素晴らしい未来の生徒につながる。将来に教職員の糧にもなる。昨年度に比べ、更に評価制度が深化した感がある。教職員間の議論の足跡が垣間見える。

【次年度について】

- ・なお、一層の活躍と愛情をもって一人一人に暖かいまなざしをもって接していただきたい。
- ・いよいよ最後の本城中になる。41年度の私も寂しい思いだが、生徒達はもっと寂しく不安で一杯だと思う。是非、一人一人の思いを聞いてあげて、励まし背中を押していただきたい。
- ・最後の本城中学校が今以上に輝く年になるように願う。
- ・自信をもって目標達成出来るものができたら、次の目標達成につながっていくと思う。
- ・特にないが、数値目標をはじめ、客観的評価しやすい内容を増やしていただきたい。

評価員の主な評価（まとめ）

学力向上	① 学力向上を意識した一貫教育の推進	・自分の思いや考えをわかりやすく話すことは、成長して社会に出るには大変重要なことだ。毎日の1分間スピーチによる反復により、自信と表現力を磨く取り組みは大いに評価できる。また、話型表を使って正しい会話や表現ができるように、今後も努力継続して欲しい。
	② 基礎的基本的内容の確実な定着	・「授業が分かる・楽しい」と答える生徒 86%の取り組み、結果は素晴らしい。「ひがタイム」への取り組みも学力の定着・向上に繋がっている。また、分からないところを先生や友人に質問できる生徒が多くなったのも指導の結果である。
	③ 家庭を巻き込んだ家庭学習の確立（宅習、読書、わが家の目標）	・家庭を巻き込む学習にも保護者の参加にさらに協力を求めたい。また、携帯・スマホ使用時間1時間指導も、保護者と一体となり、今一歩踏み込んだ指導が必要である。
豊かな人間性	① 体験学習を通した必要な資質の向上	・「感話の時間」にて教職員の経験談は、先生方の人生体験が分かり、生徒の心の指針となる。できれば、評価委員にも生徒指導便りが欲しい。宮崎市での宿泊を伴った職場体験学習や職場訪問は、貴重な体験である。立志式は少し大人になった生徒の顔や立志の誓いが素晴らしかった。
	② 望ましい人間関係の醸成に努め、思いやりのある言動の促進	・相手の痛み、迷惑をかけない思いやりのある行動ができるよう指導して欲しい。 ・学校の雰囲気も良く学校全体が落ち着いていることで安心する。いじめは社会的な大きな問題である。いじめも多種多様で、ネット等の活用もあるため生徒との対話や観察を密にして欲しい。
	③ 小・中一貫による共通課題「表現力の向上」への取組	・あいさつについて粘り強く指導を行われた結果、地域からも良い結果を得ていることを高く評価したい。校外に出ると消極的になる傾向があるようなので、発表やスピーチ活動を通して恥ずかしがらずできるよう継続して欲しい。
健康・体力・食育	① 「むし歯0」の推進【フッ化物洗口の実施とむし歯治療勧告の徹底	・本城には、歯科医院がないため、治療には時間的、人的（親に送ってもらう）負担が大きい。その事をしっかり生徒に理解してもらい、むし歯予防に努めてもらいたい。
	② 体力の向上【清掃時間を活用した体力づくり】	・清掃と体力の向上リンクは良い。これからも工夫で楽しく体力向上とモラル向上につなげてほしい。
	④ 部活動の活性化【部活動参加への推進】	・部活動については、限られた人数で工夫されながら頑張っている。他校との交流も良好で、野球部の県大会出場など、大変素晴らしかった。
	⑤ 食生活の見直し。自分で作る弁当の日実施【弁当の日前日の課題及び部活動の緩和】	・自分で作って食べることは、食への楽しみや興味、栄養や作る楽しみ、また、いつも作ってくれる親への感謝が分かるのでこれからも継続して欲しい。 ・おすすめのレシピ集は、弁当をつくる子供たちにとって、とても良いアイディアだと思う。食の大切さを知る取り組みである。これからも継続して欲しい。